



# ちあき通信



## 2017 夏号

今年の夏もとても暑いです。しっかりと体調管理をして元気にお過ごしください。この時期の生活上の主な留意点をあげてみます。「熱中症に気をつけましょう」「規則正しい生活をする」「バランスの良い食事を摂る」「快適な睡眠」「食中毒に注意」「あせも対策」など。いろいろありますが、私も気をつけようと思っています。どうぞ、改めてご確認ください。

今号では、『夏の感染症のこと』と『アトピー性皮膚炎と鶏卵アレルギー発症予防について』などお知らせすることにします。ご一読いただきたいと思います。

監修  
中井千晶

医学博士

日本小児科学会小児科専門医

日本アレルギー学会

アレルギー専門医

『手足口病 大流行の兆し』とニュースになりました。  
「こまめな手洗いを」国立感染症研究所が呼びかけています。

手足口病は、手のひら、足底、口の粘膜などに発疹が出る夏に流行る“かぜ”です。熱が出ることもあります。数日から1週間ほどで治りますが、発症から1週間前後は感染に注意してください。

『主に西日本で流行』とのこと（7月10日過ぎにはこう言われていました）ですが、「こまめな手洗い」「乳幼児が集まる場所ではタオルを共用しない」などを守って、予防を心がけましょう。

子どもに多いのどの病気、溶連菌感染症が一時、流行と言われました。

溶連菌感染症は溶血性連鎖球菌という細菌による感染症です。いくつもの種類があるのですが、ほとんどは「A群β溶血性連鎖球菌」によるものです。

**症状** ●のどが痛む ●体や手足に細かな発疹が出る ●発熱（38～39度）することがある  
●頭痛、腹痛、首のリンパ節の腫れ、なども ●舌が赤くなりブツブツが出ることもある

- 検査で速やかに溶連菌感染症かどうかわかります。
- 溶連菌感染症は医師の指示を守って治療・経過観察をしてください。

RSウイルス感染症が増えています。

- 2歳までにはほとんどの乳幼児がかかる。
  - 症状は“かぜ”と同じですが、症状が軽い場合と、喘鳴が出現し細気管支炎や肺炎になる場合がある。
  - 咳、くしゃみ、接触で感染する。
- \*ご注意ください。



乳幼児期は流行性・感染性の病気に要注意です。

夏には、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱（プール熱）が流行します。また今年は溶連菌感染症、RSウイルスにも注意が必要なようです。

詳しくは 東京都感染症情報センター RSウイルス感染症

検索



ちあき  
千晶こどもクリニック

〒112-0002 東京都文京区小石川 1-24-3  
TEL : 03-3868-0703/FAX : 03-3868-0734

## 『鶏卵アレルギー発症予防に関する提言』

日本小児アレルギー学会食物アレルギー委員会 について

専門家への提言、専門医への推奨という医療情報ですが、知っておいていただきたい情報ですので、骨子・ポイントをまとめておきます。

◇アトピー性皮膚炎にかかった乳児では、鶏卵を食べ始める時期が遅いほど鶏卵アレルギーになるリスクが高いというデータがあります。

◇『鶏卵アレルギー発症を予防するために、医師の管理のもとで、生後6か月から鶏卵の微量摂取を始め、続けると効果がある』という提言です。

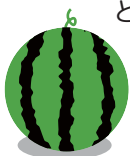
### Point

- ◎生後2か月から湿疹（アトピー性皮膚炎）を治療する。
- ◎「生後6か月から」「加熱した全卵粉末」を「微量から摂取開始」
- ◎アトピー性皮膚炎が治った状態を維持しながら、鶏卵摂取を続ける。

○これを正しく続けると鶏卵アレルギー発症予防に効果がある、との発表です。

○「アレルギー専門医（小児科、皮膚科）や乳児期のアトピー性皮膚炎に詳しい医師に、ご相談ください」この点も提言の大切な事項です。

\*「すでに鶏卵アレルギーの発症が疑われる乳児に安易に鶏卵摂取を促すことは極めて危険である」という記述などがあることも、ご紹介しておきます。



## ローク&リーナ通信



ロークはアジリティを続けています。夏にはプールで泳がせますが、あまり好きじゃないみたいです。でも上手に泳いでいます。



リーナがもらったリボン



ロークもリーナも「シェルトビー」という愛称で呼ばれる犬種「シェットランド・シープドッグ」。牧羊犬です。

リーナが、4月に開催されたジャパンインターナショナルドッグショー第1グループパピーメスクラスで1位（第一席）になりました。

生後6か月1日から生後9か月までのパピークラスの1位ですから、キングやクイーンには及ばないのですが、でも、ドッグショー出場を目指してトレーニングをしてきて、出場したクラスで1位になれたのですから、とてもうれしいです。リーナのキャラクターやバランスやコンディションなど、高評価された長所がさらに伸びるように、また頑張ろうと思っています。

2017